

第3次エコ・オフィスおごおり 実績報告書（平成29年度）

エコオフィスおごおりの概要と達成状況

- (1)趣旨 近年、国家の枠組みを超えて地球温暖化への対策が急務となっています。2015年には京都議定書以来18年ぶりに、温室効果ガスの排出量削減を国家に義務付ける「パリ協定」が国連で採択され、日本もすでに批准しています。小郡市役所も行政に携わるものの責務として、市民に率先して地球温暖化防止に向けた省エネ・節電の取り組みを推進する必要があります。
- (2)目標 平成33年度の温室効果ガス排出量を平成28年度比で5%削減する
- (3)達成状況

温室効果ガスの総排出量

	総排出量(Co2-kg)	状況
基準年 (平成28年度)	3,575,001	第3次計画の目標では5年間で5%の排出量削減を掲げており、年間目標としては毎年約1%ずつ削減していくことが求められる。しかし計画1年目にあたる平成29年度は、施設の増加や厳冬もあって4.5%の増加という厳しい結果に終わった。例年に比べ厳しい気候状況になった際にはどうしても空調使用が増えるため、無駄を省くより一層の空調管理が求められる。 ※平成28年度の温室効果ガス排出量が去年の実績報告と異なっているが、これは九州電力の発電に伴う温室効果ガス排出係数が0.348(第2次計画)から0.509(第3次計画)に上昇したため。
平成29年度	3,737,100	
基準年比	+4.5%	
目標年 (平成33年度)	3,396,251	

- (4)項目別目標
- 平成33年度の電気使用量を平成28年度比で5%削減する
 - 平成33年度の燃料使用量を平成28年度比で5%削減する
 - 平成33年度の公用車走行距離を平成28年度比で2.5%削減する
 - 平成33年度の水道使用量を平成28年度比で2.5%削減する
 - 平成33年度の紙の使用量を平成28年度比で2.5%削減する

(5)項目別目標の達成状況

	温室効果ガスの算定対象				
	電気使用量	燃料使用量	公用車走行距離	水道使用量	紙の使用量
基準年 (平成28年度)	5,137,941 kWh	370,184	432,976 km	118,824 m ³	5,764,685 枚
平成29年度	5,419,629 kWh	370,417	400,859 km	119,549 m ³	6,581,152 枚
基準年度比	5.5%	0.1%	-7.4%	0.6%	14.2%
目標年 (平成33年度)	4,881,044 kWh	351,675	411,327 km	115,853 m ³	5,620,568 枚